

1 加湿器

1
YAES・C-A1,
ES-A1形用
 形名: PAC-SF10HU

1. 適用機種

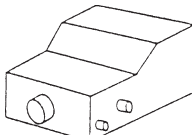
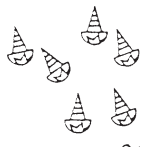
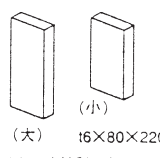
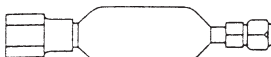
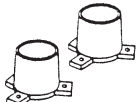
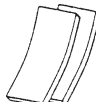
形 名	適 用 機 種
PAC-SF10HU	YAES・C-A1形用 YAES・ES-A1形用

仕様

<50/60Hz>

加湿能力	1.0L/h	送風機出力	16W
消費電力	32/32W	送風機風量	1.9m ³ /min
電 流	0.18/0.17A	騒 音	本体+1dB
力 率	89/94%	質 量	12kg

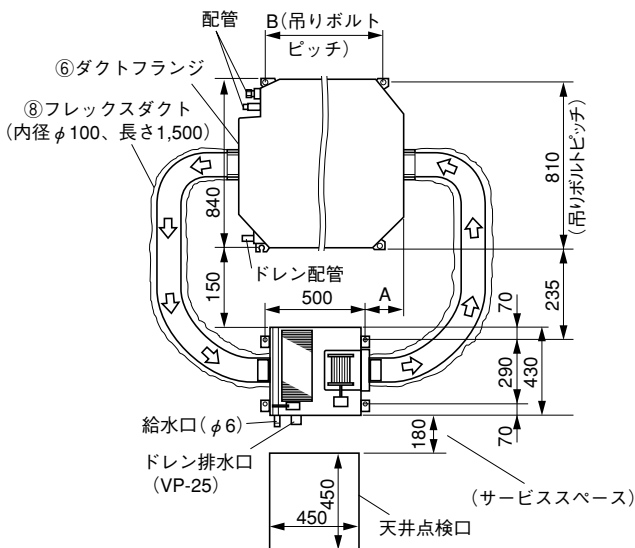
2. 付属部品

①加湿器本体	②タッピングネジ	③配管用断熱材	④バンド
	 6ヶ	 (大) 13×120×250 各1枚 (小) 16×80×220 各1枚	 2本
⑤ストレーナ	⑥ダクトフランジ	⑦ダクトフランジ用断熱材	
 1ヶ	 2ヶ	 2ヶ	
⑧フレックス・ダクト	⑨ダクト用バンド	⑩ダクト用断熱材	⑪ダクトフランジ用断熱材
内径φ100,長さ1500  2ヶ	 4ヶ	 2ヶ 120×460×260	 2ヶ 13×314×60

3. 加湿器取付スペース

図1-1 配置図(上から見る)

C-A1形室内ユニットの場合



機種	A	B
J71・J90形	170	605
J140形	430	1125

図1-2 配置図(上から見る)

ES-A1形室内ユニットの場合

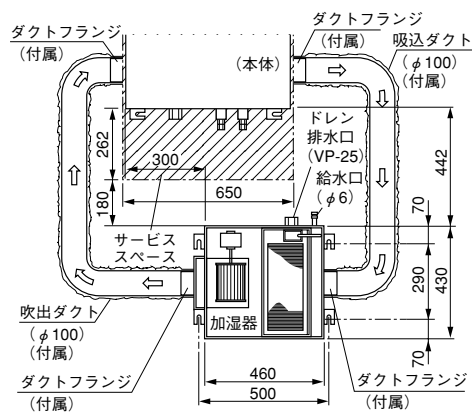
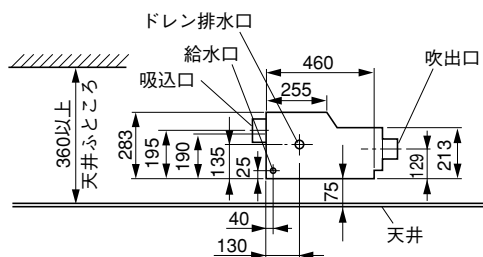


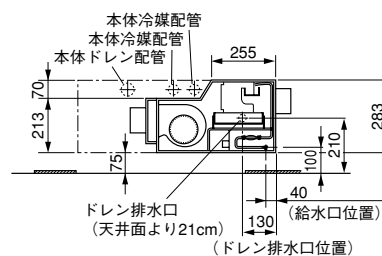
図2-1



※加湿ユニットは必ず水平になるよう施工してください。

※詳細は本体の据付説明書をご参照ください。

図2-2



4. 加湿器の取付方法

加湿ユニットは別吊方式です。加湿ユニットは必ず天井を張る前に吊り込んでください。

(1) エアコン本体工事

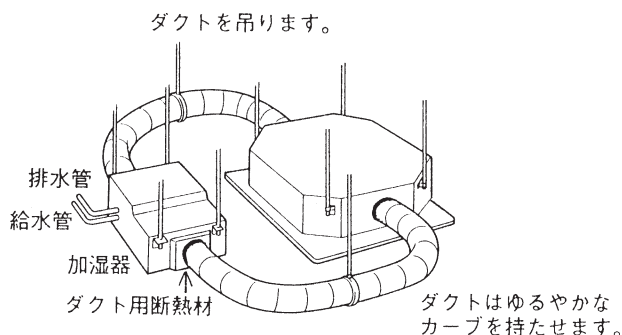
室内ユニットを吊り下げる前に、室内ユニット本体に吸込・吹出ダクトフランジ(加湿器に付属)を取付けます。

(2) 加湿器の取付(天井吊り工事)

図1-1、-2、図2-1、-2のように、室内ユニットの近くに吊り下げます。この際、ユニットにつなぐ冷媒配管・ドレン配管と交差しないよう注意してください。

図3

YAES・C-A1形室内ユニットの場合



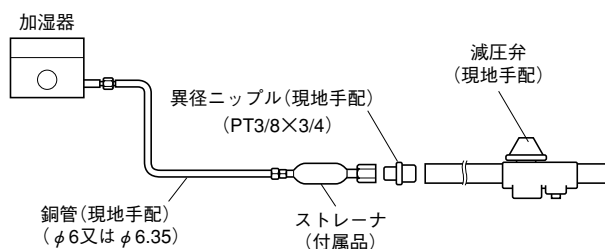
(3) 加湿器への給水管工事

- 供給水……市水、上水又は同等以上の水質を有する水。
- 供給温度……5～40℃
- 供給水圧力……給水は入口圧力が98kPa{1kg/cm²}になるように必ず減圧弁を設けてください。(現地手配)
- 止水用バルブ……シーズンオフ、又は緊急時などの為に加湿器の配管上流側に止水用バルブを必ず設けてください。(現地手配)
- 配管材・断熱材…加湿器本体に取付けてある電磁弁へは1/4フレアにて接続します。配管材は銅管外形φ6又はφ6.35をご用意ください。配管材、断熱材はすべて現地手配です。

推奨減圧弁

メーカー	形 名
ヨシタケ	GD-56H
サギノミヤ	CRV-2006GL@21
三菱電機	GT-7

図4 給水管工事



(4) 加湿器からの排水管工事

- 配 管 材……硬質塩ビ管VP25にて排水配管してください。(現地手配)
- 室内ユニットのドレン配管とは別配管とし、排水が流れやすいよう1/100以上の勾配をつけ配管してください。
※ドレンアップよりの内圧がかかり、加湿器からの排水がうまくいかないことがあるためです。

5. ダクト工事

図3を参照して工事を行なってください。

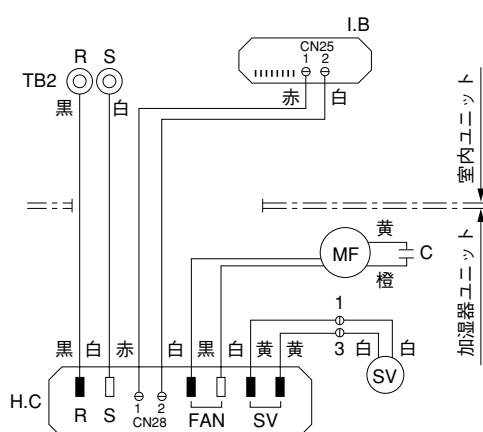
- (1) ダクトフランジ⑥を、室内ユニットのノックアウト部に、タッピンネジ②を使って固定します。
- (2) フレックスダクト⑧を室内ユニットと加湿器間に接続し、ダクト用断熱材⑪を巻きつけます。

※施工時、付属のフレックスダクトを必ず用いてください。

6. 電気配線

- 電気配線図に基づいて配線接続をしてください。
(室内ユニット側のみ)

図5 電気配線図



	記号	名 称
本 体	TB2	端子盤〈電源〉
	IB	室内コントローラボード
	CN25	コネクタ〈加湿器〉
加 湿 器	H.C	加湿コントローラボード
	CN28	コネクタ
	S.V	電磁弁〈給水〉
	MF	送風機用電動機
	C	コンデンサ〈送風機用電動機〉